

平成30年7月10日

早期 稲作情報 第3号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

6月の気象は、気温はやや高く（平年比+0.6℃）、日照時間はやや多く（同116%）、降水量はやや多い（同114%）状況でした。早期水稲の生育は、幼穂形成期～穂ばらみ期を迎えています。生育は、草丈はやや高く、茎数は並、出穂は平年よりやや早い～並になると思われます。病害虫は、海外飛来性害虫のセジロウンカ（夏ウンカ）やコブノメイガの発生は少ない状況です。

4月下旬移植の水稲は、7月15日頃から出穂期を迎えます。今後は、水管理や病害虫の発生に注意して管理を行ってください。

1. 水管理

- 出穂～開花期での水不足は、登熟不良を起こしやすいので、特に注意が必要です。浅水管理もしくは弱めの間断かん水を行いましょう。
- 台風通過前は、深水にして茎葉の揺れを少なくします。台風通過後は、水分吸収が盛んになるため、数日間は田に水が切れないようにしてください。
- 早期落水は登熟不良・品質低下を招きます。収穫1週間前までは間断かん水を続けてください。

2. 病害虫防除

- 表を参考に穂もち、紋枯病及びカメムシ対策のため、出穂期前後の防除を徹底しましょう。

●

《出穂期防除》

薬剤名	散布量	防除時期	対象病害虫
ダブルカットバリダトレボン 粉剤 3DL	3～4kg/10a	出穂5日前まで 収穫45日前まで	いもち病、紋枯病 カメムシ類 ウンカ類
ダブルカットバリダフロアブル	1000倍	穂揃い期まで	いもち病 紋枯病
キラップジョーカーフロアブル	1000倍	収穫14日前まで	ウンカ類 カメムシ コブノメイガ
ゴウケツモンスター粒剤	3kg/10a	出穂5日前まで 収穫45日前まで	いもち病、紋枯病 稲こうじ病 ウンカ類、カメムシ

《穂そろい期防除》

薬剤名	散布量	防除時期	対象病害虫
キラップ粉剤 DL	3～4kg/10a	穂そろい期～乳熟期 (収穫14日前まで)	カメムシ類 ウンカ類
キラップ フロアブル	2000倍		
キラップ粒剤	3kg/10a		
スタークル 粉剤DL	3kg/10a	穂揃い期～乳熟期 (収穫7日前まで)	
スタークル液剤	1000倍		
スタークル 豆つぶ	250g/10a		

※ミツバチへの危害防止のため、スタークル剤（粉剤・液剤）を稲の開花期に散布することは避けてください。

※カメムシは畦畔や休耕田のイネ科雑草が発生源となります。出穂2週間前に草刈りを行いましょう。

★農薬を正しく安全に使用しましょう！！

- ① 散布前に必ずラベルを確認
- ② 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止を徹底
- ③ 水田では止水期間（1週間程度）を遵守
- ④ 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄
- ⑤ 防除履歴の正確な記帳